

3年生進路講話

～進学指導重点校事業～

進路指導課

6月17日（月）7限 「3年生進路講話」を行いました。河合塾・英語科講師の室田芳丘先生にお越しいただき、すべてを完璧にするのではなく、わかるところとわからないところを見極めて、わからないところは後にして、わかるところを増やしていこうという考えで受験勉強に取り組むと気持ちも楽になり、成績UPにつながることや、新テストとののはざまの学年は、みな安全志向の考えで志望校を下げるので、最後まで挑戦する気持ちを持って取り組めばきっと奇跡がおこる（?）といったアドバイスをいただきました。



【生徒の感想より】

・完璧に問題を解かなくてもいいという言葉が一番印象に残っています。まじめに雑なやり方で問題を解いていけばいいんだなぁと思いました。自分はまじめに何でもやろうとしていたのでそうではなくて、できることを少しずつ増やしていこうという考え方で勉強していきたいです。

・英語の長文の解き方に納得できた。今までは一文一文すべて訳そうと頑張っていたけど、まじめにやりすぎず、適度に気を抜いてまじめにいい加減にやってみようと思った。

・僕は今まで、高い点を取ることを意識しすぎていたと思います。でも高い点ではなく、合格点をとることができればいいので、考え方を改めて、いきなり高い目標を立てるのではなく、一つ一つわかることを増やしていきたいと思いました。また、受ける大学は下げるのではなく、最後まで粘るようにしたいです。

・前よりも前向きに勉強する気になりました。以前は勉強することや受験については苦しいイメージしかなかったけど、今日に話を聞いて少し余分な力が抜けた気がします。これからは自分のペースである程度の緊張感は持ちつつ、頑張っていきたいと思います。